

# 青春の躍動

発行 鳥取県高等学校体育連盟  
TEL 0855-2263842  
FAX 0855-2263692  
印刷 編集 発行 鳥取県高等学校体育連盟  
刷字 編集 発行 鳥取県高等学校体育連盟  
印刷 編集 発行 鳥取県高等学校体育連盟

## 「全国総体・定時制通信制大会を終えて」



会長 津森 健次

鳥取県高等学校体育連盟  
今夏のインターハイは「翔べ、誰よりも高く、東海空へ」をスローガンに、三重愛知・岐阜・静岡の東海四県和歌山県で開催されました。大会中は、気温四十度を超えるような厳しい暑さが続きましたが、地元の高中生や先生方、地域の皆様のおかげで無事終了しました。心から感謝申し上げます。

本大会に鳥取県からは二十九競技に総勢五〇名の選手団を派遣しました。選手らは、各競技で持っている力を存分に発揮して熱戦を展開し、最終的には七競技において昨年と同数の十二の入賞を獲得しました。中でも、陸上男子走幅員の永岡 一郎選手（出雲）は、一位の選手と同記録となり、「二番目の記録を下り惜しくも優勝を逃しましたが、まさしく優勝に匹敵する素晴らしい結果でした。そして、レスリング男子六十級級で優勝となった中村 勇士選手（隠岐島前）も頂点には及びませんが、春の全国選抜の予者らしい姿となりました。競いあがり見せてくれました。」

また、全国定時制通信制大会が七月二十六日から東京都を中心に開催され、本県からは七競技四十五名の選手団を派遣し、二競技三種目に入賞を果たしました。とりわけ、陸上の高橋 椿太郎選手（宍道の一〇五〇Mと三〇〇〇SCの二種目制覇は賞賛に値するものであり、本県選手の定時制大会での優勝は十五年ぶりの快挙でありました。

改めて、両大会にエントリーしたすべての選手へのこれまでの努力と大会での活躍に敬意を表するとともに、入賞された個人、団体の皆さんに対して心からお祝い申し上げます。一万、今年悔しい思いをして、虎視眈々と来夏の全国の大舞台を目指す皆さん、目標を高く掲げ、仲間と切磋琢磨しながら、大いなる成長を遂げてくださいことを期待しています。

## 東海総体・定時制通信制大会 ～栄えある全国入賞～



一五〇〇m三〇〇〇mSC  
優勝を経験して  
宍道高校 陸上競技部  
高橋 椿太郎

僕は去年六月に脳の病気が見つかりドクターストップを受け、歩くことができなくなりました。僕にとって陸上とは、すべてであり大切なものだった。走れない苦しさ、何もできない苦しさ、手術が流れ、九月に手術を受けた。手術後の血で、一週間昏睡状態になり、生死をさまよいつつ手術を受けた。目覚めた。言葉は話せず、視野の多くが欠けていた。身長は一八〇cm、体重は三十八kgで落ち、車椅子からのハビリが始まりました。体力が言語を戻すとは簡単に思っていたが、そんな時に助けてくれた仲間がいた。恩師だった。家族がいた。「よく頑張った」「偉いね」と言ってくれた。言葉とどけられたのか。感謝しかない。一度走ろうと決めた。助けてくれたみんなに恩返ししたい。後遺症でハンディは多く苦戦したが、その分努力した。結果、全国という大舞台ですべてを出し切り二冠を達成することができた。勝ったと思っても瞬間今までの辛い経験、みんなの励み、この思い出は自分だけの力ではなく、皆に助けられた感謝だった。陸上人生の中で一番辛さを感じたレースだった。「これからは陸上を止し、走り続けます。」



インターハイを終えて  
隠岐島前高校 レスリング部  
主将 中村 勇士

私はインターハイを終えてチームメイトの大切さと自分の弱さを改めて感じる事ができました。チームメイトには、何事も練習や合宿、大会で助けられ感謝されました。今までの汗を流し、うれしかったのは喜び合ひ、悔しい時は悲しみ一緒に活動してきたからこそ今回の結果があり、部員全員で勝ち取った準備勝たと思っています。

しかし、決勝戦はとても悔しい思いをしました。決勝は、部員と共に練習してきた技を出し切ることができず敗退してしまつたからです。その敗退を糧に九月末に行われた国民体の国民体で育大では、自分の強みを全て出し切り応援していただいた地域の地元の方々、家族、指導者、指導者に勝利を届け恩返ししたいと思います。

私にとってレスリングは、全ての面において自分を強くし続ける最高のスポーツだと思っています。歳からレスリングを体験し、最初は父親の勧めで始めたことが無失練習とせられ辞めたいと思うことはなかった。しかし、試合で負けるたびに、とても悔しい思いをし、練習をする練習から、悔しい思いをためる練習をするようになり、この自ら求めて行おうという意識は、今でも大切にしています。

現在、レスリングを一生懸命にやっていますが、家族の支えがあるからだと思います。いつも自分の心身ともに支えと支えられている家族に心から感謝し、今後レスリングを通して成長し続け、お世話になった方々に認められたいと思っています。

# 第40号記念 特集 2018 彩る感動 東海総体

**陸上競技**

三重交通Gスポーツの社 伊勢陸上競技場

**総合開会式**

総合開会式には大社高校女子バレー部が参加をしました。

三重県営サンアリーナ

**ソフトテニス 男子**

三重交通Gスポーツの社 鈴鹿庭球場

**ソフトテニス 女子**

三重交通Gスポーツの社 鈴鹿庭球場

**バレーボール女子**

三重県 サンアリーナ

**サッカー男子**

伊勢フットボールクラブ

**ボート競技**

愛知県 愛知池漕艇場

**剣道**

三重県営サンアリーナ

**レスリング**

三重 メッセセンター

**ホッケー女子**

三重 メモリアルセンター て愛ドーム

**柔道**

川越 川越ホッケースタジアム

**空手道**

三重 メモリアルセンター て愛ドーム

※「2018 彩る感動 東海総体」入賞一覧

順位	成績	競技	種目	氏名	学校
1	2位	陸上競技	男子走幅員	永岡 一郎	出雲高校
2	2位	レスリング	男子60kg級	中村 勇士	隠岐島前高校
3	3位	レスリング	男子55kg級	澤谷 成	隠岐島前高校
4	3位	ホッケー	女子		横田高校
5	3位	ボート	女子シングルスカル	津田 海星	津守農林高校
6	3位	カヌー	男子カナダC1(7人)		出雲農林高校
7	3位	なぎなた	女子団体		出雲農林高校
8	5位	陸上競技	女子100mH	長崎 紗紗	大社高校
9	5位	ホッケー	男子		横田高校
10	5位	カヌー	男子カナダC1(7人)		出雲農林高校
11	6位	ボタニング	フライング	立花 春斗	出雲工業高校
12	7位	カヌー	男子カナダC2(4人)		鳥取中央高校

※全国高校定時制通信制大会 入賞一覧

順位	成績	競技	種目	氏名	学校
1	1位	陸上競技	男子1500m	高橋 椿太郎	宍道高校
2	1位	陸上競技	男子3000m	高橋 椿太郎	宍道高校
3	8位	柔道	男子60kg級	飯田 友博	徳山工業高校